



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 5

平成27年6月17日発行 発行責任者 校長 野口 泰秀

印象に残った高学年のリーダーシップ —大運動会が成功するまでの足跡—
校長 野口 泰秀

心配されていたお天気にも恵まれ、最高の状態で西春別小学校大運動会を開催することができました。

今年は、子どもたちの手でつくりあげる運動会を目指して取り組んできました。運動会当日の高学年の子どもたちは、リーダーシップを発揮し、競技だけではなく係の仕事もしっかりと行ないました。運動会が成功したのは高学年の頑張りのお陰だと思えます。しかし、練習に取り組みはじめた頃は大変でした。

6月に入ってすぐの全校練習。早くからグラウンドで待っている高学年の子ども……。遅れていく子どもたち……。先生方の「はじまるよ!!」の声……。高学年がやり方について一生懸命説明する。しかし、高学年の説明や問いかけに答えられない子がいる。正直、高学年も困ったのだらうと思えます。そこで、全校朝会の場で高学年から全校児童へ向けて次のような3つの提案がありました。

- ①集合時間を守ること。
- ②はやく並んでおしゃべりをしないこと。
- ③前に出て話し始めたら、話を聞くこと。



これら一連の流れの中で、私たち教職員も、高学年の提案に答えなければいけないと考えました。それは、高学年に虚無感をもたせたくないからです。高学年の子どもに取り組みが無駄ではなかったことを実感させたいと思い、全学級で共通理解のもと共通実践での指導をしてまいりました。その成果が少しずつあらわれ、運動会当日の素晴らしい姿につながっていきました。

さて、当日の各学年の様子です。

1年生は初めての運動会でしたが、午後の競技もいい顔でしっかりと行いました。全校リレーでは、走る姿にたくましさを感じました。2年生は、1年間の学校生活で身に付けた力が見えました。70m徒競走では力強さを感じました。3・4年生は仲間意識が芽生えてきました。高学年と一緒に取り組んだ「国盗り物語」では助け合うことの大切さを見せてくれました。5年生になると姿勢がよくなります。一つ一つの動きに高学年らしさが見られ、少し大人っぽく感じられました。そして、6年生は小学校最後の運動会でした。よさこいや応援合戦など団体種目はもちろんのこと、あらゆる種目で全力を尽くし、会場に来ていただいた方に感動を与えてくれました。

P T Aの皆様には、前日のテント設置、運動会終了後の後片付け等にご協力をいただき、大変感謝しております。また、お忙しい中をお集りいただき、子どもたちへ温かい声援をいただきましたご来賓・地域の皆様、北海道教育大学釧路校の諫山先生と学生さんには心より御礼申し上げます。皆様が笑顔で帰宅される様子に、運動会の成功を感じることができました。

今後とも、西春別小学校が地域の学校として教育活動が進められますようにご理解とご協力をお願い申し上げます。

運動会の一こま 運動会では、たくさんのお名場面が見られました。そのいくつかを紹介します。



開会式。聖火台に火がともされます。



紅白、円陣を組んで気合を入れます。



親子競技。息を合わせてゴールへ。



全校で舞うよさこいは、迫力満点。



綱引きは、力が入ります。



閉会式。大成功の運動会でした。



お手伝いいただいた大学生の皆さんと一緒に、閉会式後の記念撮影です。

交通安全キャンペーン

16日、国道243号線沿いで交通安全啓発運動がありました。交通安全協会西春別地区分会の皆さんと一緒にさせて頂き、低学年の14名が参加しました。「別海町ゆっくりはしってね」や牛の絵が書かれたプラカードを手にし、道ゆくドライバーの皆さんに交通安全を呼びかけました。秋には中学年が行う予定です。



人権の花をいただきました

16日、釧根地域人権啓発活動ネットワーク協議会から「人権の花」の贈呈式がありました。寄贈いただいたのはペチュニアやマリーゴールドなど、150あまりの苗です。児童を代表として、児童会長と副会長が目録と看板を受け取りました。

この花は、学級花壇やプランターに植える予定です。

